

株式会社ライトオン様

重複排除により日次の二次バックアップを実現
事業継続性が向上し全国 481 店舗の笑顔を守る

国名	日本
業種	流通 / 小売業
ハードウェア	ETERNUS CS800 S3 デデュープアプライアンス ETERNUS DX410 S2 ディスクアレイ ETERNUS SN200 モデル 600 ファイバチャネルスイッチ PRIMERGY BX920 S2 ブレードサーバ

課題	■ 万一のときに速やかに復旧を図りたい ■ バックアップにおける容量不足を解消したい ■ 東日本大震災を契機に事業継続性を高めたい		効果	■ 日次 7 世代分のデータを毎日「ETERNUS CS800 S3」に二次バックアップ。万一のときも最新のデータをもとに迅速に復旧 ■ 「ETERNUS CS800 S3」の重複排除機能によりデータの 83% を削減し、日々増え続けるデータの効率的なバックアップを実現 ■ 富士通の堅牢なデータセンターにハウジングし新 SAP システムを構築。災害や雷などによる停電時もビジネスを止めない ICT インフラを確立
----	---	---	----	---

「万一、SAP システムが停止すると当社のビジネス活動はできなくなります。既存のシステムでもバックアップは行っていたが、確実に復旧できるのかといった不安や、事業再開までに時間を要するだろうことも課題の一つでした」

ジーンズカジュアルショップを全国展開するライトオン。同社は東日本大震災を契機に事業継続の観点から基幹業務を担う SAP システムを富士通の堅牢なデータセンターに移設し、合わせて SAP システムのリプレースを行いました。新システムでは「ETERNUS DX410 S2 ディスクアレイ」の高速コピー機能（OPC）で取得した日次 7 世代分のデータを毎日「ETERNUS CS800 S3 デデュープアプライアンス」に二次バックアップ。万一のときも最新のデータをもとに迅速な復旧を可能にしています。また重複排除によりバックアップのデータを大幅に削減し容量不足も解消。同社のビジネスを支える ICT インフラに安心安全をもたらし、全国 481 店舗のスタッフとジーンズを愛するお客様の笑顔を守っています。

※記載の店舗数は 2012 年 8 月時点のものです。

導入の背景

大震災を契機に SAP システムとバックアップの重要性を再認識

1980 年に 1 店舗のジーンズショップからスタートしたライトオン。「人々の生活を楽しく豊かにするため、世代を超え、愛され続けるジーンズの魅力を発信する」という企業理念のもと、現在、ショッピングセンターを中心に全国 481 店舗（2012 年 8 月時点）を展開しています。

ジーンズを中核に幅広い層のお客様に愛される品揃えと、家族がワンストップでショッピングを楽しめる店舗づくりが同社の強みです。ライトオンらしさをかたちにするために主力ブランド「BACK NUMBER」をはじめ商品開発にも力を注ぎ、テレビコマーシャルなどを通じたブランド戦略も進めています。またレディースショップ「CHIME」など多業態展開も図っています。

事業が拡大してもお客様第一をモットーとする同社の現場主義は変わりません。そうした企業姿勢はジーンズカジュアル業界の競争に勝ち抜くための原動力となっています。

「ヒット商品が生まれにくくなっている現在、単発商品で売り上げを拡大するので



株式会社ライトオン
執行役員 経営企画部長
川崎 純平氏

はなく一つ一つの商品の売り上げを積み上げていくことが重要です。のためには経営層に対するタイムリーな情報提供が欠かせません。当社では、SAP システムの活用により経営層が刻々と変化する全国店舗の売上情報などを把握し現場に軌道修正を指示します。それを受けた各店舗は時間単位で店舗の改善を行っています」と同社 執行役員 経営企画部長 川崎純平氏は話します。

現場の声を聞く毎週の定例会と、現場の状況を刻々と把握できる SAP システムは同社の経営における要です。同社が事業継続における SAP システムの重要性とバックアップの大切さを再認識する契機となったのが 2011 年 3 月 11 日の東日本大震災でした。

導入の経緯

日次 7 世代分のデータを毎日二次バックアップし 事業継続性の向上を図る

「大震災によって茨城県つくば市の同社サーバールームでラックが倒れた」という報告を受けた富士通はすぐに現場に駆けつけました。「富士通さんの対応は早かったですね。震災の翌日にはシステムをチェックし 2 日間で SAP システムは復旧できました」と同社 経営企画部 システム担当 濱田和広氏は振り返ります。

2011 年 12 月、同社では大震災での経験を踏まえ、事業継続の観点か

ら富士通の堅牢なデータセンターへの SAP システムの移設を決断。また同システムのリブレース時期も迫っていたため、移設後に新システムで SAP のアップグレードを行うことになりました。

新システムの構築にあたり、同社はバックアップを重要なポイントとしました。その理由について「万一、SAP システムが停止すると当社のビジネス活動はできなくなります。既存のシステムでもバックアップは行っていましたが、確実に復旧できるのかといった不安や、事業再開までに時間を要するだろうことも課題の一つでした」と川崎氏は話します。

従来、テープによる二次バックアップは週次で行い、金曜日の夜から日曜日の昼にかけ時間を要していましたが、バックアップデータ量も増え、時間超過による二次バックアップが終わらない懸念もはじめました。こうした課題に応えるために、新システムでは「ETERNUS DX410 S2 ディスクアレイ」の高速コピー機能（OPC）で取得した日次 7 世代分のデータを、Disk to Disk で毎日「ETERNUS CS800 S3 デデュープアプライアンス」に二次バックアップする方式を検討しました。ただ日次のフルバックアップの実現には 7 世代分のデータ 20TB 以上の処理を 24 時間以内で完了しなければならず、容量不足も懸念されました。

導入のポイント

バックアップと重複排除の効率を高める工夫によりスムーズな運用を実現

二次バックアップを 24 時間以内で行うために「ETERNUS CS800 S3」のエントリーモデル 3 台を並列で利用するとともに、バックアップサーバとセキュアスイッチ間を 10GbpsLAN で接続、セキュアスイッチと「ETERNUS CS800 S3」間にそれぞれ 2 系統の冗長パスを使用し 10GbpsLAN の能力をフルに活かせる構成にしています。また業務ごとにバックアップ量が異なるため効率的なバックアップが行えるようにジョブフローを作成。さらに重複排除の効率を引き出すべくバックアップデータ種の組み合わせも工夫を施しています。

また「ETERNUS CS800 S3」は設定項目も少なく Web で設定できるため、バックアップ環境の構築工数の大幅な削減を実現。2012 年 4 月から構



株式会社ライトオン
経営企画部 システム担当
濱田 和広 氏

築を開始し同年 10 月に新システムは本稼働しました。新システムは仮想化によりシステムを集約し、従来の 5 ラックから 2 ラックへと省スペース化を実現しデータセンター使用料の削減も図っています。またストレージ「ETERNUS DX410 S2」とブレードサーバ「PRIMERGY BX920 S2」による SAN Boot 構成をとり、万一の障害時には VMware HA 機能で予備ブレードへの自動切替を実現するなど事業継続性を高めています。

導入の効果と今後の展望

重複排除によりデータの 83% 削減を実現し容量不足を解消

新システムの稼働後、同社の周辺地域で雷による停電が起きましたが、「安心感は大きいですね。堅牢なデータセンターにシステムを移転したことで、災害や雷などによる停電時の事業継続性の向上が図れました。また日次のフルバックアップにより万一のときも速やかに事業を再開できます」（濱田氏）。

二次バックアップは従来の週次 45 時間を日次 14 時間に短縮。週次にテープで行っていたバックアップ作業をはじめテープの交換や保管といった手間もなくなり業務の効率化も実現できました。また重複排除によりデータの 83% 削減を実現し容量不足も解消。さらに「ETERNUS DX410 S2」のシンプロビジョニング機能により、今後 5 年後を見据えたストレージ容量への対応を可能にしつつ、ボリュームの容量を仮想化することでストレージの稼働率の向上も図れます。

今後の展望について「今回は事業継続がテーマでしたが、今後は、ICT の役割だった業務の効率化や経営の可視化など経営への貢献度を高めていきたいと考えています。当社の業務内容を深くご理解いただいている富士通さんには、当社の業績向上や業容拡大の視点からの提案もぜひお願いいたします」と川崎氏は語ります。

ジーンズカジュアルビジネスの未来を拓くライトオン。同社の事業継続の取り組みを富士通はこれからもストレージシステムの提供を通じて支えるとともに、総合力を駆使し同社のさらなる成長を支援してまいります。

会社概要

株式会社ライトオン

本社所在地	〒305-8503 茨城県つくば市吾妻一丁目 11 番 1
代表者	代表取締役 横内達治
従業員数	854 名（2012 年 8 月 20 日現在）
店舗数	481 店舗（2012 年 8 月 20 日現在）
事業内容	・年齢・性別を超えた幅広いお客様にジーンズを中核アイテムとしたカジュアルウェアを販売する専門店 ・ショッピングセンター、パワーセンター、駅ビル等のインショップ、都市型路面店及びロードサイド型店舗と様々な出店形態により全国チェーン展開
URL	http://right-on.co.jp/

Right-on®

本コンテンツに記載されている会社名・製品名等は、各社の商標または登録商標です。本コンテンツに記載されている会社名・製品名等は、必ずしも商標表示していません。本コンテンツに記載の肩書きは、取材当時のものです。

お問い合わせ先

富士通コンタクトライン **0120-933-200**

受付時間 9:00～17:30（土・日・祝日・年末年始を除く）

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

